

教 科	商 業		科 目	原価計算	単位数	2
学 年	2 年		類 型	流通経済科		
教科書（出版社）		原価計算 新訂版（東京法令出版）				
副教材（出版社）		完全段階式 標準検定簿記問題集 全商1級 原価計算（東京法令出版）				
授 業 の 概 要		原価計算の基本的考え方と、計算方法および原価計算の記帳法を習得させ、原価計算の考え方の方法について理解する。				
授 業 の 目 標		製造業における原価計算および簿記に関する基本的な知識と技術を習得し、原価について理解するとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を身に付ける。				
年 間 学 習 計 画		学習内容（単元・項目）		学 習 目 標		
	1 学 期	1 原価と原価計算 2 原価の費目別計算 3 原価の部門別計算と製品別計算 ①個別原価計算 ②原価の部門別計算 ③総合原価計算 4 製品の完成・販売と決算 5 標準原価計算 6 原価情報の活用		・原価計算の基本的な事項、製品の製造原価を計算するための第1手続きとしての費目別計算を学習する。 ・第2、第3手続きとしての部門別計算と製品別計算の記帳方法を学習する。製造業の決算について、報告書の作成方法を学習する。 ・原価情報の活用に関する基礎的な知識と技術を習得する。		
	2 学 期					
	3 学 期					
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		技能	知識・理解
	原価計算の仕組みについて学習し、関心を持ち主体的に取り組んでいるか。		製造業の簿記を様々な角度から考察し、それぞれに見合った処理が判断できるか。		原価計算の計算方法、記帳が正しく行われ、学習した内容が適切に行われているか。	製造業と関連づけた会計処理、記帳方法について基礎・基本的な知識が身についているか。
備 考	「財務会計Ⅰ」とのまとめ取りにより、4月から7月まで実施する。 4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめごとに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。					